

令和元年度『ユネスコエコパークと湯けむりの町みなかみ総会』を終えて

群馬支部長 瀧澤 孝（応化58）

令和元年6月29日（土）、みなかみ温泉源泉湯の宿松乃井ホテルにおいて令和元年度悠久会全国総会「ユネスコエコパークと湯けむりの町みなかみ総会」を開催しました。

参加者は138名。総会や懇親会の一部に参加される方などもおられ、様々な形でのご参加をいただきました。翌日の谷川岳ロープウェイコースは雨天のため中止とさせていただきますが、宝川温泉ゆったり堪能コースをバス2台60名もの方々にご参加いただきました。誠に有難うございました。

【講演会】

みなかみは平成17年に水上町、月夜野町、新治村が合併して新たに誕生した町です。結果、18ヶ所の温泉地を抱える群馬を代表する「湯の町」となりました。

そこで今回は現みなかみ町の温泉大使であります小暮淳氏によります講演を「群馬は温泉パラダイス！」とのタイトルで熱弁していただきました。



【学生発表】

現役新大生による研究発表を今回の全国総会から取り入れ、ロボコンがテーマでしたが素晴らしい発表でたいへん好評でした。

【全国理事会・総会】

全国理事会・総会は、2018年度事業報告、決算報告、会計監査報告、及び2019年度事業計画並びに予算案が承認されました。また、100周年記念行事母校近況に関する報告など、活発な討議が行われました。

【懇親会】

懇親会の前に約1時間半の温泉タイムを設けましたが、皆さん温泉に浸かってから浴衣姿で参加して下さいました。開催支部長の挨拶に続き、本合旧理事長と本日交代となられた新理事長の寺尾正義様（電52）にご挨拶をいただき、小椋工学部長の乾杯で開宴となりました。

今回は日本酒をたくさんご用意させていただき、新潟のお酒7本、群馬のお酒6本、合計13本の銘酒をご堪能いただきました。

余興では、群馬を代表する八木節を藤岡市芦田町八木節会の方々に披露していただきました。また、宴の途中には講演をいただいた小暮氏による「温泉パラダイス」を全員で歌って踊るコーナーが設けられ、今回製作したタオルを皆で一生懸命に振りながら踊りました。



また、引き続き2次会、クラス会も隣の会場で行われ、来年も再来年も元気に集い会おうと決意も交わしあい、和気あいあいの楽しい場とすることが出来ました。



【観光】

翌日6月30日はあいにくの雨天で谷川岳ロープウェイコースは危険と判断し中止とさせていただき、宝川温泉堪能コースにバス2台、総勢60名もの方々に参加していただきました。

お昼はビードロパークでガラス細工の体験やドイツビールを飲みながらの美味しい釜飯しも好評で、集合写真撮影の際には青空が広がり、素晴らしい観光日和となりました。



楽しい時間はあっという間に経つもので、15時半過ぎには帰路上毛高原駅、そして松乃井ホテルへバスが向かい、全国から多くの同窓会の方々にご参加賜りました2日間が無事終了となりました。改めて関係された皆様にご感謝申し上げますとともに、母校並びに悠久会の益々の発展をご祈念申し上げます。本当に有難うございました。